

令和6年度水道事業会計決算について

水道は市民生活に直結するライフラインであり、都市の発展を支えるインフラとしても重要な役割を担っています。

経営状況は、人口減少により年々厳しくなっていますが、安全で良質な水道水を安定してお届けできるよう水道施設の耐震化をさらに進め、給水サービスの向上に努めていきます。

給水状況

昨年度と比べ、水を送った件数は 98 件増加しましたが、年間の給水量は 8,843m³ 減少し、水を使用した人数も 911 人減少しました。

官公庁用や工場用、営業用など大口需要家への給水量が増加した一方で、人口減少や節水意識の向上などにより一般家庭への給水量が引き続き減少しており、この傾向は今後も続くものと思われます。

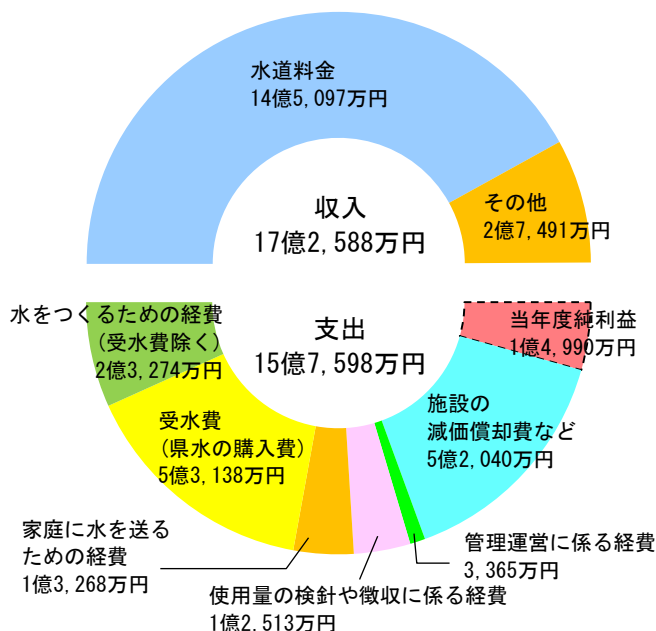
項目		令和6年度	令和5年度	増減	比率(%)
行政区域内人口(人)	A	72,738	73,656	△ 918	98.8
給水区域内人口(人)	B	72,680	73,597	△ 917	98.8
年度末給水人口(人)	C	72,647	73,558	△ 911	98.8
年度末給水件数(件)		34,830	34,732	98	100.3
行政区域内普及率(%)	C/A	99.9	99.9	0.0	100.0
給水区域内普及率(%)	C/B	99.9	99.9	0.0	100.0
年間給水量(m ³)		9,195,470	9,204,313	△ 8,843	99.9

経営活動に伴う収入と支出（損益収支のため消費税等抜き表示）

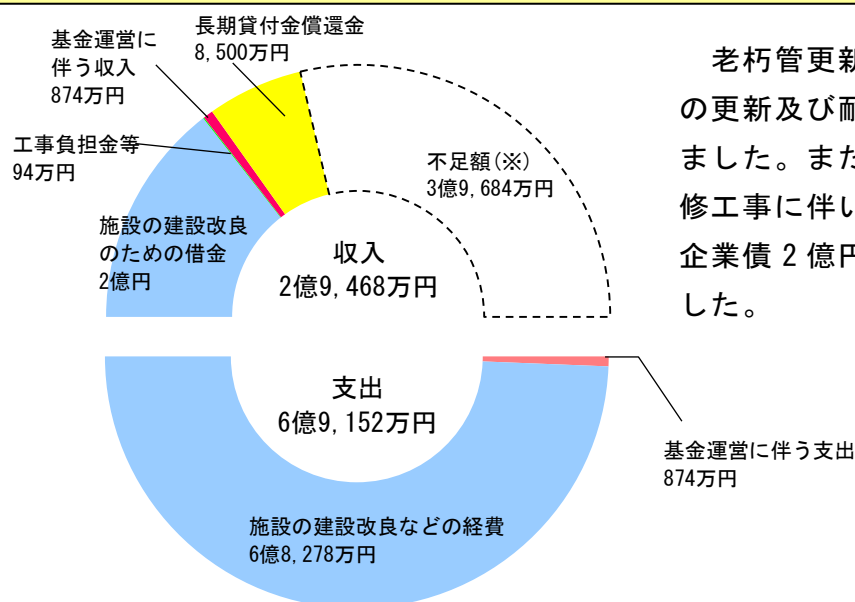
収入では、官公庁用や工場用、営業用などの大口需要家への給水量の増加に伴い水道料金が 384 万円増加したことなどにより、総額 17 億 2,588 万円となりました。

支出では、動力費が増加しましたが、受水費、修繕費等が減少し、総額 15 億 7,598 万円となりました。

その結果、収支は 1 億 4,990 万円の黒字となりました。



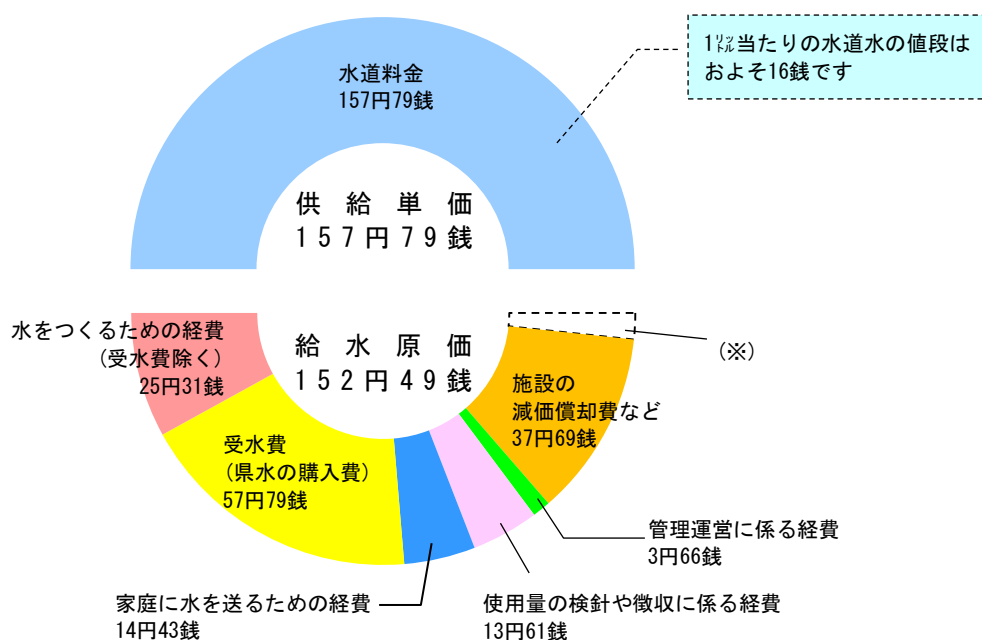
施設整備に要する収入と支出（資本収支のため消費税等込み表示）



老朽管更新工事に併せた主要管路の更新及び耐震化を計画的に実施しました。また、自由が丘配水池の改修工事に伴い建設改良費に充当する企業債2億円の借入れを実施しました。

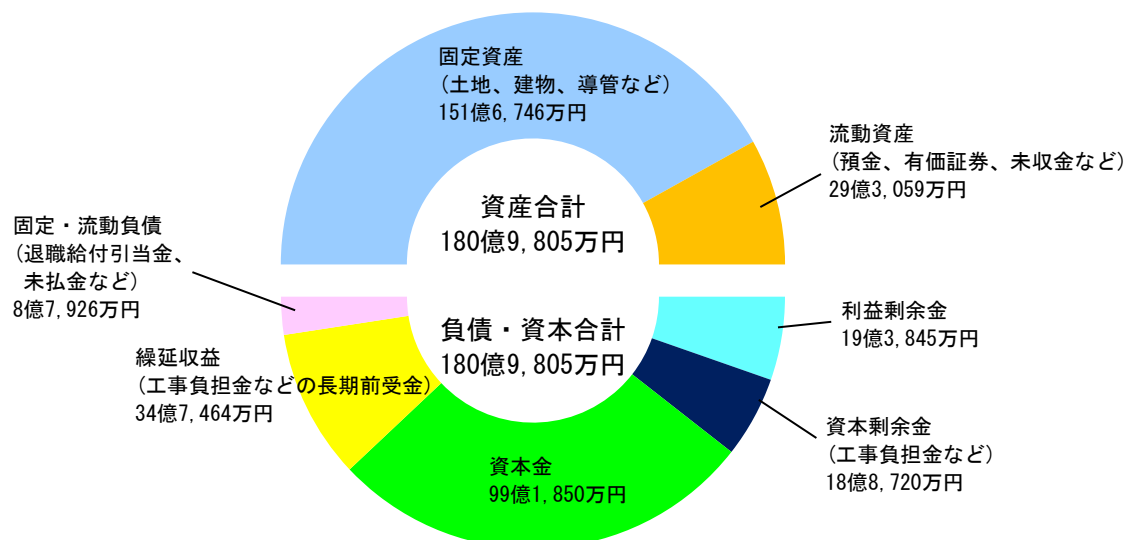
※不足額は施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

供給単価と給水原価（1m³(=1,000ℓ)当たり、消費税等抜き表示）



※本年度は供給単価が給水原価を上回り、料金収入で給水に必要な費用が賄われました。

貸借対照表（令和7年3月31日現在）

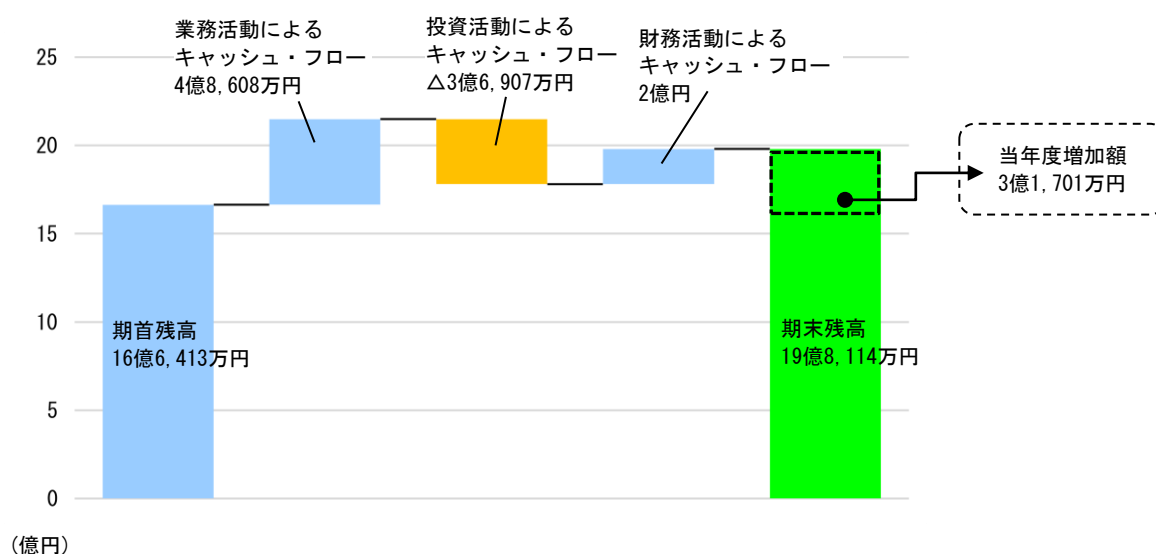


キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローは現金（キャッシュ）の流れや増減を把握するものです。

「業務活動」によりキャッシュを増やし、設備投資などの「投資活動」や、借り入れた借金の返済などの「財務活動」を行うことでキャッシュが減少します。

本年度は、建設改良費に充当する企業債2億円の調達等で3億1,701万円のキャッシュが増加し、本年度末のキャッシュ残高は19億8,114万円となりました。



※業務活動：投資活動及び財務活動以外の通常の事業活動によるもの
 ※投資活動：固定資産の取得や売却、投資資産の取得や売却など
 ※財務活動：資金の調達や返済